

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

三重県

●地域における現状・課題

三重県では、各市町によって、中学校の数や生徒数、部活動の種類、受け皿となり得る団体、指導者や活動場所、移動手段の状況が異なり、直面している課題もさまざまであることから、画一的に推し進めていくことは困難な状況にあります。このため、各市町の状況を把握し、好事例の共有等を図るとともに、地域の実情に応じた取組を進める必要があります。まずは、部活動に外部指導者を入れるなどの地域連携から始めたり、可能な部活動から総合型地域スポーツクラブ等に地域移行したりするなど、中学校の休日における部活動の段階的な地域連携・地域移行を進めます。

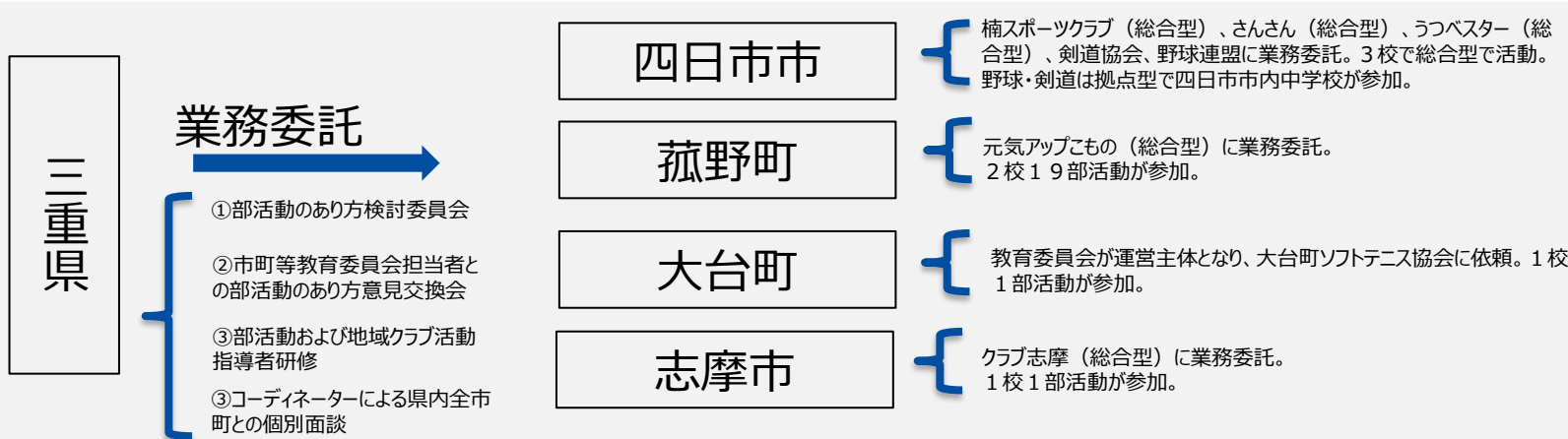
●取組事項の概要

- ・部活動改革コーディネーターによる、県下29市町訪問
- ・県下29市町の進捗状況の確認、今後の地域移行に係る取組予定、現状における地域移行に係る課題の把握
- ・市町担当者と丁寧な情報共有を図るための「市町等教育委員会担当者との部活動のあり方意見交換会」の開催
- ・今後の三重県における部活動のあり方の検討や「ガイドラインおよび新たな地域クラブ活動方針」策定のための「部活動のあり方検討委員会」の開催

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・県下29市町の進捗状況の確認、今後の地域連携・地域移行に係る取組予定、現状における地域移行に係る課題の把握
- ・指導者の専門性や資質・能力を向上するためのオンデマンド研修
- ・県教育委員会と関係課、市町教育委員会が定期的にかつ綿密に情報交換できる「市町等教育委員会担当者との部活動のあり方意見交換会」の開催
- ・今後の三重県における部活動のあり方を県教育委員会と関係課、有識者が検討する「部活動のあり方検討委員会」の開催

●運営体制図



令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

三重県菰野町

●地域における現状・課題

- ・ 町内の中学校では生徒数の減少に伴い、運動部活動の募集を見送り、廃部となる運動部活動が出てきており、子どもたちのやりたいスポーツ活動ができない環境となりつつある。
- ・ 町内の生徒1160名のうち100名は部活動に所属せず、校外の活動を行っており、現在の部活動の在り方では子どもたちのニーズに応えられていない現状がある。

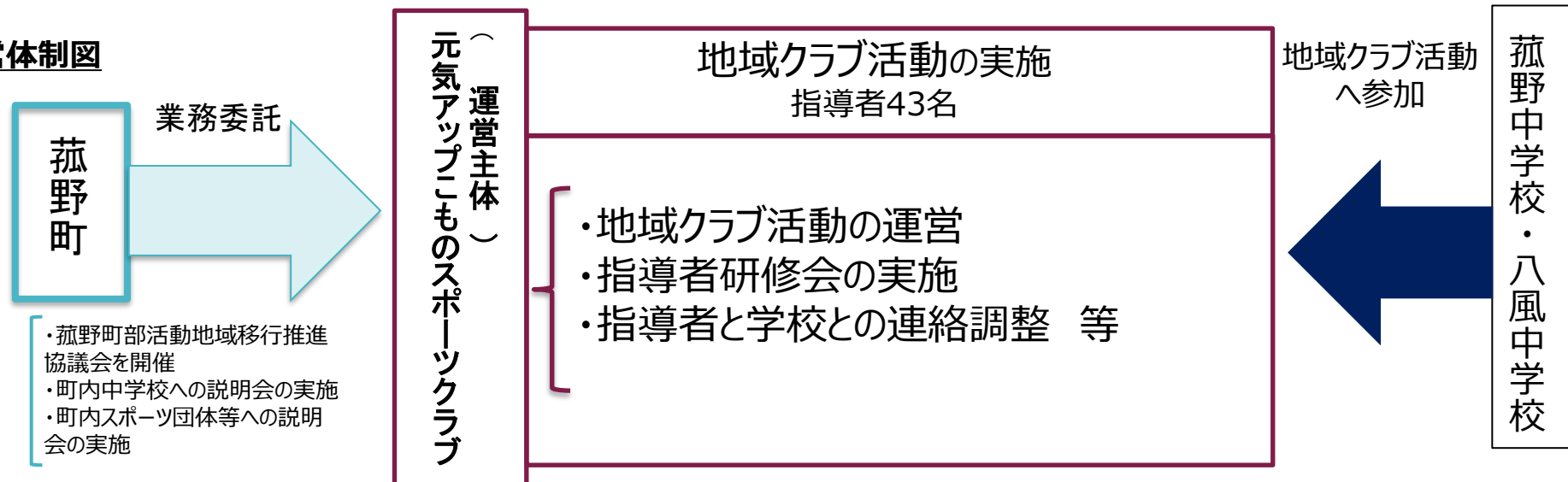
●取組事項の概要

- ・ 総合型地域スポーツクラブの「元気アップこものスポーツクラブ」を事務局とし、地域クラブ活動の運営、指導者研修会を実施。
- ・ 事務局内にコーディネーターを配置し、学校や指導者、教育委員会等との連絡調整が円滑に行われる体制を整備。
- ・ 町内両中学校に21の地域クラブ活動を設置。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・ 総合型地域スポーツクラブの事務局内にコーディネーターを配置したことで、関係機関等の連絡調整が円滑に行われた。
- ・ 総合型地域スポーツクラブの人材バンクを活用し、43名の指導者を確保。
- ・ 地域移行にむけた取組における生徒及び保護者の満足度80%以上。

●運営体制図



令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

三重県四日市市

●地域における現状・課題

・市内22中学校には、約200の運動部活動がある。しかし、少子化による生徒数の減少、それに伴う教職員数の減少により、令和元年から10部活ほどが休部ならびに廃部となっている。また、複数の教員で部活動の顧問をすることが困難になってきている。競技によっては単一校で試合に参加することができない学校も増えてきており、合同チームによって試合参加が可能となる。

●取組事項の概要

・「総合型地域スポーツクラブによる、中学校部活動の地域移行」

各校に設置される運動部活動の休日の活動を総合型地域スポーツクラブの指導者が指導を行う。

・「各競技団体協会主催による、休日練習会の開催」

各競技団体協会が市内中学生向けの練習会を月に1回程度開催する。練習会場は市内運動施設等を利用。

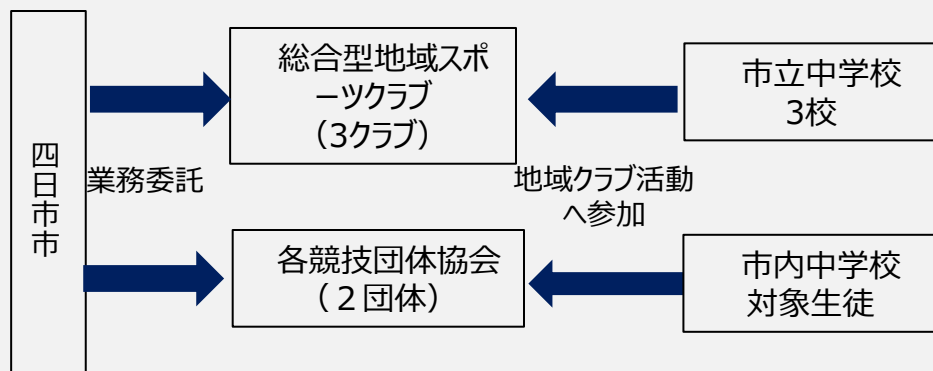
●取組の成果、特に工夫した点等

・「総合型地域スポーツクラブによる、中学校部活動の地域移行」については、平日の指導を行う、教員との連携等の時間を総合型地域スポーツクラブが積極的に作り、各活動の指導者間で連携の取りやすいツール（連絡ファイル、SNS）を作り、指導を行った。

・「各競技団体協会主催による、休日練習会の開催」については、練習会開催日は、市内中学校の同種の部活動は休日とし、参加生徒の活動の場を保障するとともに、教員の働き方改革につなげた。

●運営体制図

●運営体制図（四日市市）



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型
- (2) 運営主体：総合型地域スポーツクラブ・各競技団体協会
- (3) 種目：総合型＝各校設置運動部活動 各団体＝軟式野球・剣道
- (4) 指導者の主な属性：地域指導者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：総合型＝3回 各団体＝1回
- (6) 主な活動場所：総合型＝学校 各団体＝市内運動施設
- (7) 主な移動手段：総合型＝徒歩、自転車
各団体＝徒歩、自転車、公共交通機関、保護者送迎
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：0円/年
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円/指導者1,850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

三重県志摩市

●地域における現状・課題

- ・市内6校の部活動は38部活あるが、中学校によっては部活動数が多い学校、少ない学校と差があり、選択肢が少ない状況となっている。
- ・学校が点在しており、拠点を設けて活動する際も「移動時間」、「移動手段」が1番の課題となっている。また、学校部活動と地域クラブ活動との差となる「受益者負担」、「指導者確保」についても、総合型地域スポーツクラブや市スポーツ協会、市スポーツ少年団など各種団体と連携して取り組む必要がある。

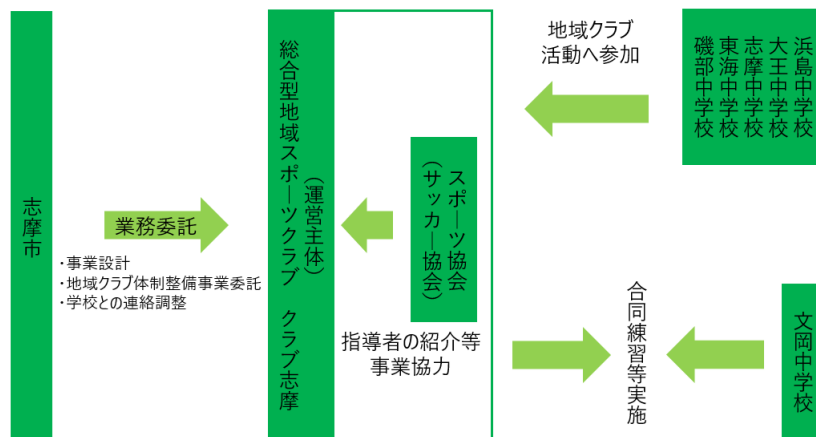
●取組事項の概要

- ・コーディネーター等を配置し、関係団体・市・学校等の連絡調整等を行い、運営団体・実施主体の運営体制の整備や人材確保などの組織体制の整備を行う。
- ・スポーツ協会等、競技団体・企業等と連携し、県の人材バンクを活用しながら指導者を確保する。
- ・学校施設や備品等を使用について、地域スポーツクラブ活動のルール策定を行う。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・行政職員がコーディネーターとなって主体的に取り組み、地域移行推進期間以降を視野に入れ、「志摩市学校部活動在り方検討会」を設置した。
- ・モデル事業であるサッカー種目は、指導者間の繋がりやスポーツ協会など関係団体と連携し、県の研修動画などを活用しながら指導者の質・量の確保に努めた。
- ・行政職員がコーディネーターとなることで、学校側が安心して総合型地域スポーツクラブと関わるができるよう努めた。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型（総合型地域スポーツクラブ運営型）
- (2) 運営主体：総合型地域スポーツクラブ クラブ志摩
- (3) 種目：サッカー
- (4) 指導者の主な属性：総合型地域スポーツクラブ登録指導者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：月3回程度
- (6) 主な活動場所：志摩市長沢多目的広場 他
- (7) 主な移動手段：自転車、公共交通機関、保護者送迎 等
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：39,000円/年
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

三重県大台町

●地域における現状・課題

- ・大台町内には2つの中学校があり、年々生徒数が減少傾向である中学校で部活動を存続していくのは困難で、廃止となる部活動も少なくない。大台町部活動地域移行推進協議会を設置し、課題、問題点を洗い出しながら、他の種目の地域移行についても検討していく必要がある。
- ・部活動では、学校教職員が専門以外の種目を担当することもあるが、地域移行することにより、質の高い専門的な指導を受けることができる。さらに、質の向上、危機管理、ハラスメントへの対応のため、競技団体等が主催する研修会に積極的な参加を推進する必要がある。
- ・部活動と比較すると、地域クラブ活動の方が保護者の負担が増える。そのため、町として、財政面での支援が必要である。

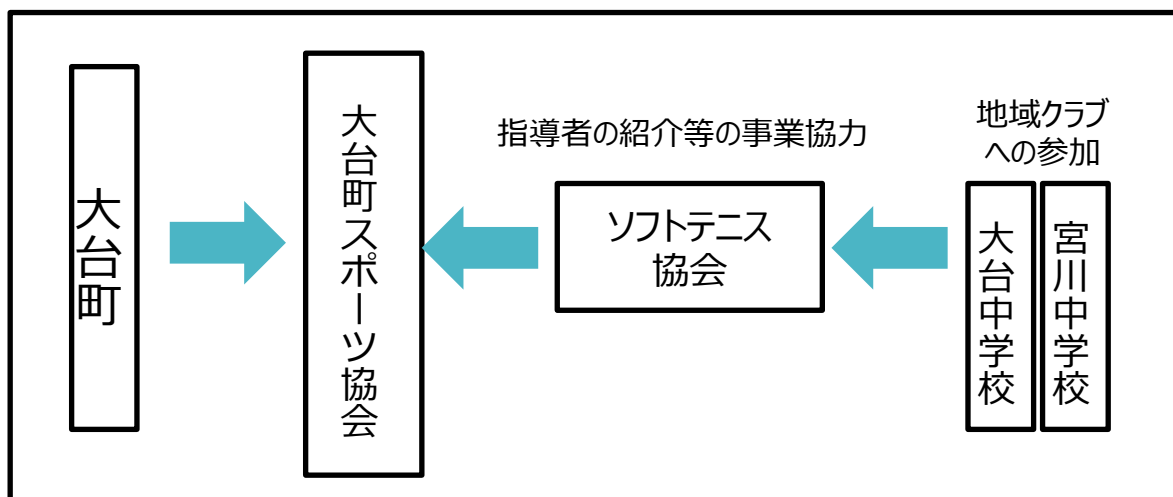
●取組事項の概要

- ・指導員と学校顧問等と連携を密にとり、部活動を安全かつ計画的に実施できるよう、発生した課題の把握・対応をし、持続可能な体制整備づくりを行う。
- ・町スポーツ協会、町スポーツ少年団、スポーツ推進員及び行政で組織する大台町部活動地域推進協議会を設置し、連携の強化を図る。
- ・保護者への負担が大きくなるため、大台町部活動地域移行推進協議会内で補助金等の財源を検討していく。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・指導者が平日は大台中学校のスクール・サポート・スタッフとして勤務をしていることもあり、中学校の部活動への参加する機会があり、学校部活動と地域部活動の連携がスムーズに取れた。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型（体育・スポーツ協会運営型）
- (2) 運営主体：大台町ソフトテニス協会
- (3) 種目：ソフトテニス
- (4) 指導者の主な属性：元教員（元ソフトテニス部顧問）
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：月6回程度
- (6) 主な活動場所：大台中学校テニスコート
- (7) 主な移動手段：保護者の送迎
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：1,000円/年
- (9) 1人あたりの保険料：生徒800円/指導者1,850円